



こんにちは！印南町子育て世代包括支援センターです！！
今回は「親子の絆」についてお伝えします。

——「親子の絆」について——

今回は親子の「絆」についてお伝えしたいと思います。



早速ですが、親になるのはいつからでしょうか？我が子が誕生してから？お腹に新しい命を宿したとき？

・・・みなさんはどう思いますか？

お腹の赤ちゃんのために体調に気を付け、お腹をさすり、話しかけてコミュニケーションをとることが胎児期の関わりとして重要になってきます。

この時期からしっかりと親子の絆を結んでいただきたいと思えます。

心と心のコミュニケーションが始まります。

「臨界期」から「乳幼児期」までは心の感性や感情が成長するのに大切な時期です。

そのことをママにはぜひ知っておいてほしいです！

この頃の親子の絆が子どもの将来の人間性の形成に大きく影響してきます。

では、妊娠中にとどのようなことをすればよいでしょうか？

お腹の中の赤ちゃんは月日が経てば成長します。この10か月間お子さんにしっかりと話しかけてあげてください。

心の成長は胎児期から始まると言われています。ママ自身が幸せな気持ちになりお腹に話しかけ、穏やかに日常を過ごすことで、体内環境もよくなります。そして豊かな心を作ることにつながります。

皆さんが普段当たり前のことだと思っしている自然なことがとても大切なことです。



子どもは親から愛情を受けることで「愛」を知ります。ですから心の成長には親の心が必要です。

お腹にいるときは「へその緒」で母と子はつながっています。

生まれたら「愛情」でしっかりと我が子をつなぎとめてください。

よく「話しかけるとお腹をけつてくれる」という話を耳にしますがこれも親子のコミュニケーションのひとつであり、一緒に暮らし家族の関わりでごく普通の日常生活です。ママだけでなく、ぜひパパも赤ちゃんに話しかけてください。

ママは妊娠の経過とともに胎動を感じ、新しい命が成長し育まれていることの幸せと、我が子への愛情が絆となり親子関係が確立していきます。パパもママが新しい命を宿した時から「親」として我が子に話しかけてあげましょう。

生まれた我が子を抱きしめてパパになったと実感することと思えます。

胎動を感じ始めたら、パパにお腹に手を当ててもらって成長を喜び、幸福感と一緒に感じて家族の絆を大切にしてください。パパと子どもが成長していく過程では不可欠です。

- ・絆を深めるために必要なこと
- ・おなかの赤ちゃんに話しかける
- ・歌を口ずさんで聞かせてあげる
- ・絵本を読んで聞かせてあげる
- ・パパからも話しかける
- ・リラックスティムして毎日過ごす

ぜひ参考にしてみてくださいね。



ちゅいつつコラム⑬

——マタニティマークの活用について——

みなさんはマタニティマークをご存じですか？

印南町では妊娠届出時、母子健康手帳を交付する際にステッカーをお渡ししています。

キーホルダーなどを鞆に着けてご利用されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

妊娠中、特に妊娠初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、ママの健康を維持するためにとても大切な時期です。しかし、外見からは見分けがつかないためママには様々な苦労があります。

このマークについて、厚労省は



国民運動計画「健やか親子21」推進検討会において、妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保を目指し、「マタニティマーク」を発表しました。

マークは、妊婦さんが交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊婦であることを示しやすくするものです。

また、交通機関、職場、飲食店等が、呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊婦さんにやさしい環境づくりを推進するものです。

としています。

みなさんの妊婦生活がより安心安全なものとなるようぜひ活用してくださいね。

